



生活者の視点から、まちの未来を考える

主担当部局：まちづくり推進局



レンタサイクル「古都りん」



天理マルシェ

目指す姿

少子高齢化に伴う社会構造の変化に対応し、県民が安心して住み続けられるよう、福祉・医療・文化施設等の地域資源を活用した地域を元気にするまちづくりを進めます。また、生活者の視点から「やすらぎ」・「憩い」に配慮した空間づくりを進めます。



● 地域資源を活用した

● 「やすらぎ」・「憩い」に配慮した生活しやすい

住みよいまちづくり

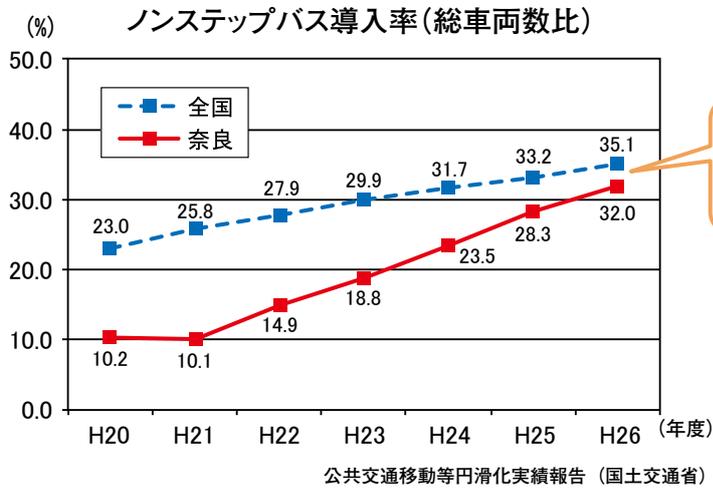
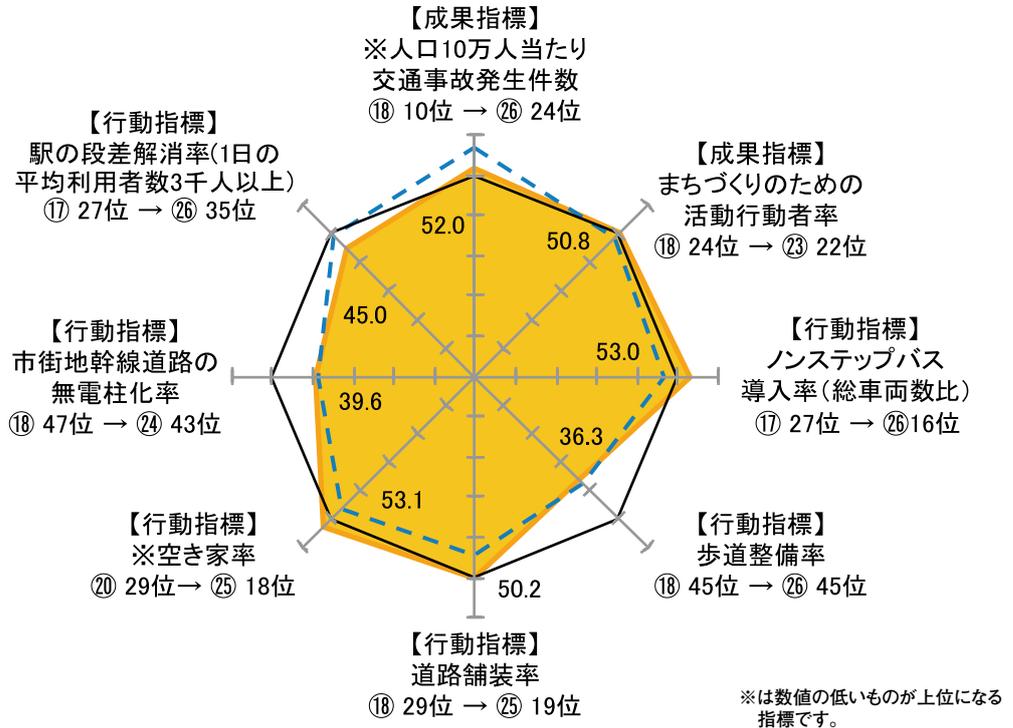
を目指します。

空間づくり

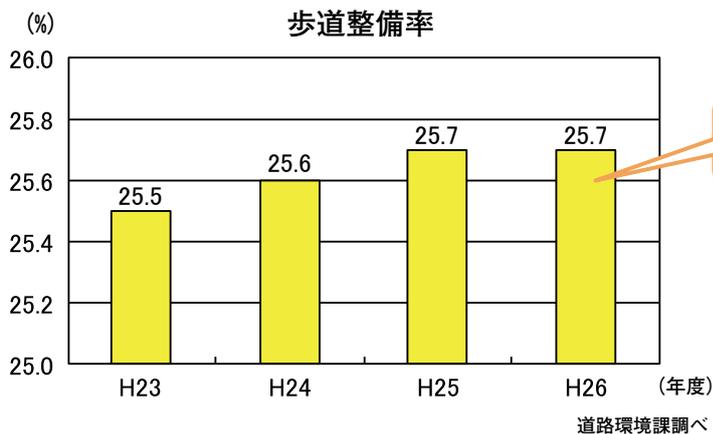
を目指します。

分析

■ 主な指標



全国平均を下回っているものの、その差は着実に縮まっています。



平成25年度と比べて横ばいとなっています。

戦略1

地域資源を活かし、住みよく、住み続けることができるまちづくりを推進します。

主担当課：まちづくり推進局 地域デザイン推進課

戦略目標

- ▶ 県民のニーズにあった住まい・まちづくりの維持・向上を目指します。
- ▶ 住みやすい地域づくりを推進し、平成31年度までに**空家等対策計画を策定する市町村の割合を50%以上**にします。(平成27年度：0%)
- ▶ 一人一人が安心して暮らせる**医療を中心としたまちづくり**を目指します。
- ▶ 多世代がいきいきと暮らしやすい**川辺のまちづくり**を目指します。
- ▶ 地域資源を活用したイベントなどにより**にぎわいのあるまちづくり**を目指します。
- ▶ まちづくりの拠点となる**公共施設などの利活用を推進**します。

取り組み

地域の実態に応じた住生活の維持と向上の検討・推進

郊外住宅地における「空き家対策」等の推進

「サービス付き高齢者向け住宅」の登録の推進

県総合医療センターの整備に合わせたまちづくりの推進

主要プロジェクト
22

医大・周辺まちづくりプロジェクト

川辺のまちづくり

奈良・町家の芸術祭はならあとの開催

駅前広場等でのマルシェ開催によるにぎわいづくり

主要プロジェクト
23

ファシリティマネジメントの推進

主要プロジェクト
24

水循環ビジョンの推進



奈良・町家の芸術祭 はならあと (橿原市今井町)



将来イメージ
総合医療センター跡地を活用したまちづくりイメージ
(奈良県総合医療センター周辺県有地活用アイデアコンペ 最優秀作品)

工程表

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
地域の実態に応じた住生活の維持と向上の検討・推進	検討・モデルプロジェクトの実施			
郊外住宅地における「空き家対策」等の推進	対策の推進			
「サービス付き高齢者向け住宅」の登録の促進	サービス付き高齢者向け住宅登録			
県総合医療センターの整備に合わせたまちづくりの推進	事業計画の検討等		事業実施準備	事業の実施
医大・周辺まちづくりプロジェクト				
◎医大病院の充実	施設整備			
◎将来を見据えた大学・病院の在り方検討	将来像・施設整備基本構想の策定およびフォローアップ			
◎教育・研究部門の移転	新キャンパスの整備			
◎周辺まちづくりの推進	まちづくりの整備			
川辺のまちづくり				
◎協議会・懇談会による川辺のまちづくりの検討・整備	検討、整備			
◎医療・教育・福祉施設等の既存施設間の連携	連携の推進			
◎良好な河川空間の確保等	河川清掃、花植え等の実施			
奈良・町家の芸術祭はならあとの開催	開催支援			
駅前広場等でのマルシェ開催によるにぎわいづくり	マルシェ開催支援			
ファシリティマネジメントの推進				
公共施設等の利活用・整理の推進	検討、利活用方針の策定（中部地域利活用及び南部地域再配置計画）			
ファシリティ版奈良モデルの検討・推進	国、県、市町村が連携した国公有財産の最適化			
水循環ビジョンの推進				
◎水利用の適正化（県域水道ファシリティマネジメント） 県営水道エリア	段階的に実施			
五條・吉野エリア 簡易水道エリア	具体化検討			
◎保水力の向上	大和川総合治水対策の推進			
◎水辺環境の保全	大和川清流復活ネットワークの活動（啓発、清掃等の実施）			



川辺のまちづくり（佐保川 川の彩り花つづみ事業による花植え）



川辺のまちづくり（佐保川 清掃活動）

戦略2

市町村と連携したまちづくりを推進します。

主担当課：まちづくり推進局 地域デザイン推進課

戦略目標

▶ 県とまちづくりに前向きでアイデアや熱意のある市町村が**連携協定を締結し、協働でプロジェクトを実施することを目指し、平成31年度までに、まちづくりに関する基本構想策定数を30地区にします。**(平成26年度：0地区)

取り組み

県と市町村との連携協定によるまちづくりの推進

連携協定に基づく市町村への支援



奈良県と宇陀市のまちづくりに関する包括協定 締結式
(平成27年12月25日締結)

工程表

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
県と市町村との連携協定によるまちづくりの推進				
◎天理市との連携協定		基本構想検討・基本計画検討・事業推進		
◎大和郡山市との連携協定		基本構想検討・基本計画検討・事業推進		
◎桜井市との連携協定		基本構想検討・基本計画検討・事業推進		
◎奈良市との連携協定		基本構想検討・基本計画検討・事業推進		
◎五條市との連携協定		基本構想検討・基本計画検討・事業推進		
◎橿原市との連携協定		基本構想検討・基本計画検討・事業推進		
◎大和高田市との連携協定	● 包括協定締結	基本構想検討・基本計画検討・事業推進		
◎高取町との連携協定	● 包括協定締結	基本構想検討・基本計画検討・事業推進		
◎御所市との連携協定	● 包括協定締結	基本構想検討・基本計画検討・事業推進		
◎三宅町との連携協定	● 包括協定締結	基本構想検討・基本計画検討・事業推進		
◎明日香村との連携協定	● 包括協定締結	基本構想検討・基本計画検討・事業推進		
◎宇陀市との連携協定	● 包括協定締結	基本構想検討・基本計画検討・事業推進		
◎その他市町村との連携協定の検討		連携協定の検討、締結		
連携協定に基づく市町村への支援		基本構想・基本計画の策定等に対する支援		
		まちづくりの中心となる拠点施設の整備等に対する支援		

戦略3

やすらぎ・憩い・にぎわい・利便性を提供する空間の創出を推進します。

主担当課：県土マネジメント部 企画管理室

戦略目標

- ▶ 道路・河川などの公共施設において花のある空間作りを推進し、平成31年度までに、**地域の河川サポート事業「彩り花つつみプログラム」参加団体数を30団体**にします。(平成26年度：25団体)
- ▶ 都市公園の利活用・適切な管理を推進し、平成31年度までに、**馬見丘陵公園の来園者数を100万人**にします。(平成26年度：92.6万人)
- ▶ 歩行空間における、とどまり・ゆったりできる**憩い空間の整備を推進**します。
- ▶ 自転車の利用を促進するため、案内誘導及び注意喚起サイン整備などを進め、**約600km**の広域的な**自転車ネットワークの充実**を目指します。(平成26年度末：約460km整備済み)
- ▶ 市町村や交通事業者、地元住民と連携・協働のもと、誰もが安心して暮らせるモビリティ(移動の利便性)の確保を目指し、平成32年度までに、**ノンステップバスの導入率(対象車両比)を70%、鉄道駅のバリアフリー化を原則100%**にします。(平成27年3月末：ノンステップバス導入率35.3%、鉄道駅の段差解消率68.8%)
- ▶ **まちづくりの拠点となる施設の整備を推進**します。

取り組み

地域との協働による河川美化活動の推進

過疎地域等における基幹的な生活交通の確保

地域との協働による花いっぱい運動の推進

町家等の地域資源を活用したまちづくりの推進

都市公園等のマネジメントの推進



馬見丘陵公園

河川沿いの遊歩道整備と憩える広場整備

自転車の利用促進

リニア中央新幹線の建設促進



ノンステップバス

主要プロジェクト
26

移動ニーズに応じた交通サービスの実現

工程表

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
地域との協働による河川美化活動の推進	河川空間を花で彩る活動の実施			
地域との協働による花いっぱい運動の推進	参加団体の拡充推進、花壇整備の実施			
都市公園等のマネジメントの推進	施設整備、公園管理、利活用の推進			
河川沿いの遊歩道整備と憩える広場整備	水辺の遊歩道の整備			
自転車の利用促進				
◎広域的な自転車利用ネットワークの整備	(仮称)京奈和自転車道の整備推進			
◎関係者が連携した推進体制の構築	情報発信の実施、関係機関と協議、モニタリングの実施			
リニア中央新幹線の建設促進	「奈良市附近」駅位置の早期確定及び三重・奈良ルートの早期実現に向けた要望活動、地元自治体がJR東海から求められる協力事項の先行検討			

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
移動ニーズに応じた交通サービスの実現				
◎奈良県地域交通改善協議会における取り組み	PDCAサイクルによる交通サービスの取り組みの検討など			
◎公共交通のあり方を示す計画の実施に向けた取り組み	公共交通事業の実態 基幹路線の検討、策	新たな公共交通施策の実施		
◎生活交通の維持・確保の推進	市町村のコミュニティバス等への支援 奈良交通(株)との連携協定に基づくバス交通支援			
◎鉄道駅等のバリアフリー化の推進	駅・周辺主要施設における移動空間の整備			
過疎地域等における基幹的な生活交通の確保	関係市町村・交通事業者等との協議、施策の推進 連携協定に基づく奈良交通(株)との協議、施策の推進			
町家等の地域資源を活用したまちづくりの推進	地域資源の活用推進			

戦略4

バリアフリー・ユニバーサルデザインや景観に配慮した空間の創出を推進します。

主担当課：県土マネジメント部 企画管理室

戦略目標

- ▶ 児童や高齢者、障害者など**多くの人**が利用する箇所などでの**歩行空間の整備**を推進します。
- ▶ 平成31年度までに、市街地など幹線道路の**無電柱化率を12%**にします。
(平成26年度：8%) (直轄道路含む)
- ▶ **公共空間の美装化**や**良好な河川空間の確保**を目指し、平成31年度までに、**地域の河川サポート事業「憩いの川づくりプログラム」参加団体数を58団体**に、「**ボランティア支援プログラム**」参加団体数を**109団体**にします。(平成26年度：憩いの川づくりプログラム50団体、ボランティア支援プログラム101団体)

取り組み

児童や高齢者・障害者等が安心して移動できる歩行空間の整備

無電柱化の推進

主要道路沿道の重点的な除草の実施

良好な河川空間の形成

「なら四季彩の庭」づくりの推進

【対策前】

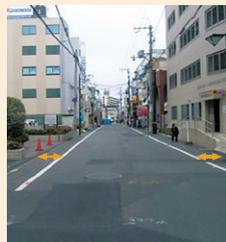


【対策後】



通学路等の歩行空間の整備
(主要地方道天理加茂木津線奈良市大野町)

【着工前】



【竣工後】



歩行空間のバリアフリー化
(大和八木停車場線)

工程表

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
児童や高齢者・障害者等が安心して移動できる歩行空間の整備				
◎通学路等の歩行空間の整備	整備			
◎歩行空間のバリアフリー化	バリアフリー基本構想における生活関連経路の整備推進			
無電柱化の推進	無電柱化の工事(橿原神宮東口停車場飛鳥線(飛鳥工区))			
主要道路沿道の重点的な除草の実施	観光地や観光地を結ぶ主要道路沿道の除草を実施			
良好な河川空間の形成				
◎良好な河川空間確保のための重点除草の実施	包括的な維持管理マネジメントの実施			
◎水辺空間の景観向上	河川での彩りづくりの実施			
◎河川美化活動の推進	活動団体の募集及び活動の見える化の実施			
「なら四季彩の庭」づくりの推進	植栽の整備・維持管理			

これまでの成果

奈良県総合医療センター周辺のまちづくりにおいて、まちづくり協議会を定期的に開催するとともにまちづくりについて構想の具体化を図るため県庁関係部局及び奈良市関係部局で構成するプロジェクトチームを設置しました。

★まちづくりに前向きでアイデアや熱意のある市町村と連携協定を締結し、まちづくりに関する取り組みを推進しました。(天理市、大和郡山市、桜井市、奈良市、五條市、橿原市、大和高田市、高取町、御所市、三宅町、明日香村、宇陀市の12市町村で包括協定締結(平成27年12月末現在))

佐保川や飛鳥川では河川空間を活用した懇談会やイベントを開催し、地域住民主体のまちづくりに取り組みました。

県による公共交通政策のマスタープランとなる、条例に基づく奈良県公共交通基本計画を平成27年度中に策定するため、学識者から構成される策定委員会を開催し、協議を行いました。(平成27年8月、10月)

- 川辺のまちづくり(佐保川周辺)
 - ・川辺のまちづくりin大安寺西(平成27年11月3日開催:約500人参加)
- 川辺のまちづくり(飛鳥川周辺)
 - ・河川定期清掃(平成24年10月から毎月1回実施:毎月約20~30人参加)
 - ・灯の路と大とんど(平成24年から毎年1月に開催:1回当たり約1,000人参加)

地域全体を見渡した総合的な交通ネットワークの形成を目指す、法律に基づく奈良県地域公共交通網形成計画を平成27年度中に策定するため、市町村や交通事業者などから構成される奈良県地域交通改善協議会を平成27年6月に法定協議会に改組し、協議を行いました。(平成27年6月・10月)

県内の歴史的町並み地域において、現代の芸術を入口とした町家の利活用と地域価値の維持・向上のサイクルを作ることを目的に、奈良・町家の芸術祭 はならあと 2015(開催期間:平成27年10月10日~11月3日)を開催し、約56,300人の来場がありました。

広域的な自転車利用ネットワーク約600kmのうち、約460kmについて案内誘導及び注意喚起サインの整備等を完了しました。(平成26年度末現在)

中部地域の県庁舎系施設の再配置により、未利用資産となった桜井総合庁舎を桜井市に売却・貸付し、桜井土木事務所を奈良県広域消防組合に売却し、桜井市のまちづくりにおける拠点施設としての活用を図りました。

主な指標の動き

■よくなっている指標

※人口10万人当たり
交通事故発生件数

569.6件
(平成18年 全国10位)



426.5件
(平成26年 全国24位)

全国順位は低下していますが、安全対策等の実施により発生件数は減少しています。

■変化が見られない指標、低下している指標

まちづくりのための活動行動者率

13.7%
(平成18年度 全国24位)



13.3%
(平成23年度 全国22位)

相対的に他の行動者率が上昇したため、まちづくりのための活動行動者率は若干減少しましたが、全国順位は若干上昇しました。

※は数値の低いものが上位になる指標です。